

(2) 各学年の目標及び内容

ア 第3学年及び第4学年

(7) 目標

(1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

ねらい：・自分たちの住んでいる地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにすること

・地域社会の一員としての自覚をもつようにすること

* 第3学年及び第4学年の内容の(2)、(3)、(4)及び(6)の一部にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「地域の産業や消費生活の様子」

・地域の人々の生産活動や販売活動の様子には特色があること

・県内には特色ある産業があること

を理解できるようにすること

「人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動」

・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るために関係機関と地域の人々が互いに協力していること

・関係機関に従事している人々や地域の人々が様々な工夫や努力をしていること

・それらの諸活動は地域の人々の健康で安全な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていること

を理解できるようにすること

態度に関する目標：

「地域社会の一員としての自覚をもつようにする」

・児童一人一人が地域社会の一員であるという意識

・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境、安全な社会を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識

を育てるようにすること

*この目標を実現するために：

・内容の(2)、(3)、(4)及び(6)の一部の指導を通して

・地域社会の人々は様々な工夫や努力、協力をしていること

・人々の健康で安全な生活や良好な生活環境の維持と向上が図られていること

を理解できるようにする

・地域社会の一員としての自覚を育てるようにする

ことが大切である

(2) 地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし，地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

ねらい：・自分たちの住んでいる身近な地域や市（町）や県の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにすること
・地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにすること

* 第3学年及び第4学年の内容の(1)，(5)及び(6)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「地域の地理的環境」

- ・身近な地域や市の様子は場所によって違いがあること
- ・県の地理的位置や地形の様子
- ・県内には自然環境を保護・活用している地域が見られることを理解できるようにすること

「人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働き」

- ・地域の人々の生活の様子が大きく変化してきたこと
- ・地域の人々が伝統や文化を保護・活用し，大切に守り受け継いでいること
- ・地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を理解できるようにすること

態度に関する目標：

「地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする」

- ・現在及び過去の地域の人々の工夫や努力によって生み出された，地域社会の特色やよさへの理解に基づいて，自分たちの住んでいる地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにすること

*この目標を実現するために：

- ・内容の(1)，(5)及び(6)の指導を通して
 - ・地域社会の特色が現在及び過去の人々の働きによって生み出されていることを理解できるようにする
 - ・地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにすることが大切である

(3) 地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

ねらい：自分たちの住んでいる身近な地域や市（町），県の学習を通して，社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，

- ・地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力
- ・調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする

* 第3学年及び第4学年の内容全体にかかわる能力に関する目標

「地域における社会的事象を観察，調査する」

- ・地域の地理的環境や人々の社会生活の様子を具体的にとらえたり，その特色や相互の関連などについて考えたりするために，地域における社会的事象を自分の目でよく見たり調べたりすること

例) ・ありのままに観察する

- ・数や量に着目して調査する
- ・観点に基づいて観察，調査する
- ・他の事象と対比しながら観察，調査する
- ・まわりの諸条件と関連付けて観察，調査する

「地図や各種の具体的資料を効果的に活用」する

- ・地域の人々の社会生活の様子をとらえたり，その特色や相互の関連などについて考えたりするために，地図（以下，絵地図を含む）や各種の具体的資料を効果的に活用すること

例) ・資料から必要な情報を読み取る

- ・資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる
- ・必要な資料を収集する

「地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力」を育てる

- ・自分たちの住んでいる市と県内の他地域との比較などによって人々の生活の特色
- ・地域の人々の生活と自然環境，伝統や文化などとの関連，願いを実現していく地域の人々の工夫や努力，協力と生活や生活環境の維持と向上との関連，地域の人々の生活や産業と国内の他地域や外国との結び付き

などについて考える力を育てるようにする

「調べたことや考えたことを表現する力」を育てる

- ・地域における社会的事象を観察，調査したり，地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりして調べたこと
- ・地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを表現する力を育てるようにする

* この目標を実現するために：

- ・第3学年及び第4学年の内容全体の指導を通して，
 - ・自分たちの住んでいる身近な地域や市，県の社会的事象を，学習問題に即して意欲的に観察，調査したり，地図や各種の具体的資料を活用したりして調べることができるようにすることが必要がある
 - ・調べたことや地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを相手にも分かるように表現することができるようにすることが大切である

* 能力に関する目標について：

- ・第3学年及び第4学年の2年間で目標を実現するという趣旨に基づき，児童の発達の段階や学習経験に応じて，系統的，段階的に育てていくことが大切である

(イ) 内容

(1) 自分たちの住んでいる身近な地域や市（町）について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

(内容の取扱い)

(1) 内容の(1)については、方位や主な地図記号について扱うものとする。

自分たちの住んでいる身近な地域や市（町）

・自分たちが通う学校の周りの地域や自分たちの住んでいる市（町）を指している

身近な地域

・地形の様子、土地の使われ方、市街地の広がり、主な公共施設のある場所など、児童が直接、観察できる範囲である

*学校の周りの地域の様子を調べ、それに続けて市といった行政的な範囲に広げていくようにする

*市の範囲や広がりをとらえさせることは、生活舞台である地域社会の生産や販売、健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動それぞれにおける他地域との結び付きや協力の様子を理解する上で基礎となる

◇観察、調査したり白地図にまとめたりして調べる

・身近な地域の様子については、児童の発達の段階や学習経験を十分に考慮して、社会的事象を観察したり、聞き取りなどの調査を行ったりして、その結果を絵地図や地図記号を使った平面地図にまとめる活動を行うようにする

・市の様子については、市の特色ある地形や土地利用などが見られる場所の地図や写真などを活用して調べ、白地図に書き表す活動が考えられる

◎地域の様子は場所によって違いがあることを考えることができるようにする

・観察、調査したり、白地図にまとめたりしたことをもとにして、身近な地域や市の様子は、場所によって違いがあることを具体的に考える

場所による違い

例) ・土地の高低や海岸沿いなど地形的な条件

・駅前、大きな道路に面したところ、新興住宅地など社会的な条件

ア 身近な地域や市（町）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

主な学習内容

小1,2生活(3),(4) →

・自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする

・公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする

「身近な地域や市（町）の特色ある地形」を調べる

例) 土地の低いところや高いところ、広々と開けた土地や山々に囲まれた土地、川の流れているところや海辺に面したところなど

「土地利用の様子」を調べる

・身近な地域や市で生活している人々がその地域の土地をどのように利用しているのかを具体的に調べ、白地図に書き表す

例) 田や畑の広がり、住宅や商店、工場の分布など

*特色ある地形や交通などと結びつけて、土地の利用は地形的な条件や社会的な条件ともかかわりがあることを気付くようにする

「主な公共施設などの場所と働き」を調べる

・主な公共施設などの名称と位置、働きなど

例) ・市役所や町役場、学校、公園、公民館、図書館、児童館、体育館、美術館、博物館、郷土資料館、文化会館、消防署、警察署、裁判所、検察庁などの公共施設

・駅、病院、福祉施設、デパート、スーパーマーケット、銀行など多くの市民が利用している施設

「交通の様子」を調べる

・主な道路や鉄道などの名称や主な経路など

例) ・身近な駅やバス停とその周りの様子を観察、調査したり電車やバスなどの路線図や時刻表を手掛かりにしたりして、自分たちの住んでいる市と近隣の市との結び付きに気付くようにする

・主な道路と市内の工場の分布、主な駅と商店の分布など、土地利用の様子を交通の様子と関連付けて考え、相互のかかわりに気付くようにする

→小3,4社会(4)

・地域社会における災害及び事故から人々の安全を守る工夫について

「古くから残る建造物」を調べる

- ・古くから残る建造物の位置や昔の様子、いわれなど
例)・神社, 寺院, 伝統的な家屋など
- ・地域の特色に応じて門前町, 城下町, 宿場町などの伝統的な家並

◇観察・調査・聞き取り調査・白地図へのまとめ

- ・身近な地域や市全体の地理的環境についての理解を深める
例)・市全体を表す地図を用いて自分たちの学校や学校のある地域が市のどのあたりにあるのかを確かめその位置を言い表す活動
- ・身近な地域と市全体の地形や土地利用の特徴を比べたり類似点や相違点を整理したりする活動
- ・観察, 調査したり地図などを活用したり, 聞き取り調査を行ったりして具体的に調べ, 絵地図や地図記号を使った平面地図にまとめる活動
- ・市の特色ある地形や土地利用などが見られる場所の地図や写真などを活用して調べ, 白地図に書き表す活動
- *身近な地域の絵地図から, 市(町)全体の平面地図へ無理なく移行するよう配慮する
例)・屋上や小高い山など高いところから身近な地域の景観を展望, 観察
- ・市の鳥瞰図や立体地図, 空中(航空)写真などを活用

◎地域の様子は場所によって違いがあることを考えることができるようにする

*方位や主な地図記号を理解し活用できるようにすること

- 方 位** : 児童の実態などを考慮に入れ, 最初に四方位を取り上げ, 八方位については, ここでの学習も含めて第4学年修了までに身に付ける
- 地図記号** : 身近な地域の様子を地図に表したり, 地図から市の様子を読み取ったりする際に必要なものを扱う
- 具体的には取り上げた公共施設などとの関連に留意して
- 建物・施設** : 学校, 警察署, 消防署, 工場, 神社, 寺院, 市役所, 町役場など
- 土地利用** : 田, 畑, 果樹園など
- 交 通** : 鉄道, 駅, 道路

→小3, 4社会(6)
・県の様子について, 県内における自分たちの市(町)の地理的位置

→中地理(2)エ
・身近な地域の調査

→小3, 4社会(6)
・県の様子について, …資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ, 県の特色を考えるようにする

学習の手立ての例

- ・学区の様子について, 学区探検や屋上など高いところから町を観察して, 白地図に書き表したり, 絵地図を作ったりする
 - ・古くから残る建造物については昔の様子やいわれを家の方や地域の方などに, 公共施設の働きについては働いている方などに聞き取り調査をする
 - ・身近な地域の建物を学校を基準に, 四方位や八方位を使って表す
 - ・学区探検に出たり, 白地図を作成したりすることで, どんなところ(土地の低いところ, 駅前など)にどんな施設があるか, どんなことに使われているか, 交通網と工場・店舗・住宅街との関連など調べたことに関わり合いに気付かせる
 - ・同じ農作地でも, 田の広がる場所と茶畑の広がる場所の違い(地形的条件)は何かを考えたり, 古い住宅地と新興住宅地の町並みの違いを学区探検で確認したりする
 - ・最初は学校周辺, さらに市(町)へと対象を広げ, 土地利用などを比較して共通点・相違点・関連性を考える
- 🔗製紙工場, 輸送機器関連工場, 家電工場や, ミカン, 茶, わさび, メロン栽培など静岡の特徴ある産業に関連した施設や土地利用を取り上げる

(2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

地域の人々の生産や販売

- ・身近な地域や市（町）の人々の農作物や工業製品などの生産に関する仕事や販売に関する仕事
地域の人々の生産に関する仕事：農作物や工業製品をつくる仕事
木を育てる仕事、魚や貝などを採ったり育てたりする仕事

◎それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える

- ・農作物や工業製品などの生産に関する仕事や販売に関する仕事に携わっている人々が、それぞれの仕事の特徴に応じて、他地域などのかかわりをもちながら、様々な工夫をしていることを具体的に考える

ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。

主な学習内容

「地域には生産や販売に関する仕事があること」を調べる

- ・身近な地域や市の人々の生産や販売に関する仕事の種類や分布を取り上げ、身近な地域や市には生産や販売に関する様々な仕事があることを具体的に調べる
- ・生産に関する仕事：
例) ・米や野菜、果物などを作る農家の仕事
・物をつくる工場の仕事
- ・販売に関する仕事：
例) 近所の小売店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、デパート、移動販売など、日常生活に必要な商品を販売する仕事

→中地理(2)エ
・身近な地域の調査

「それらは自分たちの生活を支えていること」を調べる

- ・地域の生産や販売に関する仕事と自分たちの生活とのかかわりについて取り上げ、自分たちの住んでいる身近な地域や市の人々の生産や販売に関する仕事と自分たちの生活を支えていることなどを具体的に調べる
- ・生産に関する仕事：
例) ・自分たちの市の産業として地域に根ざしていること
・地域で生産されている物が自分たちの生活に使われていること
・地域の商店などから自分たちの生活に必要なものを購入したサービスを受けたりしていること
・工場などが地域の人々の働く場所になっていること
*販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを調べる学習においては、個人のプライバシーに十分配慮する

→小5社会(2)(3)
・我が国の農業や水産業の役割、自然環境とのかかわり
・我が国の工業生産の役割

◇見学や調査、作業的な活動

- 例) ・市内の農家や工場、商店などの分布について調査したり、資料を活用したりして白地図にまとめる
- ・農家や工場、商店の仕事の様子を観察したり仕事に携わっている人から話を聞いたりする活動を通して、生産や販売の仕事の工夫と自分たちの生活とのかかわりについて気付く

◎地域の生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫を考える手掛かりにする

学習の手立ての例

- ・地域の農産物別の生産量や工場数などを調べ、白地図や絵グラフなどに表現する
- ・家庭では、どのような商店で、どのような商品を購入しているか調査し、表にまとめる

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

(内容の取扱い)

(2) 内容の(2)のイについては、次のとおり取り扱うものとする。

ア 「生産」については、農家、工場などの中から選択して取り上げること。

イ 「販売」については、商店を取り上げ、販売者の側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けて扱うようにすること。

ウ 「国内の他地域など」については、外国とのかかわりにも気付くよう配慮すること。

主な学習内容

「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色」を調べる

* 生産については農家や工場などの中から選択して、販売については商店の仕事をそれぞれ取り上げ、それぞれの仕事の特色を具体的に展開できるようにする

・ 地域の人々の生産活動や販売の仕事に見られる工夫を取り上げ、それぞれの仕事の特色を具体的に調べる

・ 農家の仕事：

例) 地形や気候など自然条件とのかかわり、施設・設備、働く人の仕事の進め方、生産物の販売などに見られる仕事の工夫

・ 工場の仕事：

例) 原材料の仕入、生産のおよその工程、働く人の服装や仕事の進め方、製品の販売などに見られる仕事の工夫

* 地域の生産活動については、農家の仕事、工場の仕事、木を育てる仕事、魚や貝などを採ったり育てたりする仕事などの中から一つを取り上げる

・ 商店などの販売の仕事：

例) 商品の品質管理、売り場での並べ方や値段の付け方、宣伝の方法などに見られる仕事の工夫

* 販売者の側の工夫と関連付けて消費者の側の工夫を取り上げる

例) 消費者の信頼を損なうことなく売上げを高めるための販売者の工夫は、商品の品質や価格などを考えて店や商品を選んで購入している消費者の工夫にも結びついていること

「国内の他地域などのかかわり」を調べる

・ 原材料や商品の仕入、生産物の出荷、働く人の通勤圏などに見られる国内の他地域などのかかわりを取り上げ、地域の人々の生産や販売の仕事が様々な面で国内の他地域などのかかわりをもっていることを具体的に調べる

・ 人によるかかわり：

例) 地域の工場や商店で働く人や商店に買い物に来る人が、自分たちの市以外のところに住んでいる場合がある

・ 物によるかかわり：

例) 自分たちの市の生産物が他の市へ出荷されたり、工場の原材料や商店の商品が他の市で生産されている

* 結び付きの見られる県や国の名称と位置を地図などで確かめる活動を行い、生産や販売を通して自分たちの地域が県内だけでなく国内の他地域や外国ともかかわりがあることに気付くよう配慮して指導する必要がある

◎地域の生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫を考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・ 地元の農家や工場を見学し、生産上の工夫を調べる
- ・ 商店を見学し品質管理や集客の工夫を調べるとともに、タイムサービスの利用など消費者の工夫も調べる
- ・ 生産物がどこに出荷されているか、労働者がどこに住んでいるのか、原材料や商品がどこから集まっているのか、消費者がどの地域からどんな方法で買いに来るか調べ、白地図に表現する
- ・ スーパーマーケット、コンビニエンスストア、個人商店の比較をする

★輸出入している原材料や商品と、その相手国について地図に表現する

🏭工場で働く外国人労働者の人数や出身国を調べる

🏠あすなる学習室の「お店探検にレッツゴー」を使い、調べ学習を行う

→小5社会(2)ウ(3)ウ

- ・ 食料生産に従事している人々の工夫や努力
- ・ 工業生産に従事している人々の工夫や努力

→中公民(2)

- ・ 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解
- ・ 消費者の保護

→小3,4社会(6)エ

- ・ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

→小3,4社会(6)ア

- ・ 47都道府県の名称と位置

→小5社会(1)ア

- ・ 主な国の名称と位置

→中地理(1)ア(2)ア

- ・ 世界の地域構成
- ・ 日本の地域構成

(3) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。

(内容の取扱い)

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア 「飲料水、電気、ガス」については、それらの中から選択して取り上げ、節水や節電などの資源の有効な利用についても扱うこと。

イ 「廃棄物の処理」については、ごみ、下水のいずれかを選択して取り上げ、廃棄物を資源として活用していることについても扱うこと。

(5) 内容の(3)及び(4)にかかわって、地域の社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うものとする。

地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理

・地域社会の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上を図る上で欠かすことのできない対策や事業

飲料水の確保：水源を確保するための対策や水源地から各家庭や工場などに供給されるまでの事業

電気の確保：発電に必要なエネルギー源を確保するための対策や発電所から各家庭や工場などに送電されるまでの事業

ガスの確保：原料の確保や保安にかかわる対策やガスを製造する工場から各家庭や工場などに供給されるまでの事業

ごみや下水な

どの廃棄物：その処理にかかわる対策や事業

*家庭や学校、公共施設、会社や工場などで取り組んでいる節水や節電のための工夫や努力を取り上げ、

・飲料水や電気をつくるために必要な資源には限りがあること

・飲料水や電気、ガスなどの無駄な使い方を見直し有効に利用すること

が大切であることに気付くようにする

*資源・エネルギー問題に対する関心をもち、自らも節水や節電に協力しようとする態度を育てるように配慮する

*ペットボトルやアルミ缶などの資源ごみを分別収集し、資源として再利用したり、下水を処理浄化して再利用したりするなど、廃棄物を資源として活用していることについて取り上げ、資源ごみを回収して有効に活用することや再生された製品を利用することの大切さに気付くようにする

これらの指導を通して、地域の環境保全に対する意識を高め、自らも廃棄物の適切な処理や再利用などに協力しようとする態度を育てるように配慮する

◇見学、調査したり、資料を活用したりして調べる

・ダムや貯水池、浄水場、発電所、ガスの製造工場、清掃工場、下水処理場などの施設を見学したり、そこで働く人々から聞き取り調査したりする活動

◎これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする

・飲料水、電気、ガスについては、それらの安定供給を図るために、

・廃棄物の処理については、それらを衛生的に処理するために、

・それぞれ様々な対策や事業が広く他地域の人々の協力を得ながら計画的に進められていること

・そのことによって地域の人々が住みよい環境の中で健康な生活を営むことができること

を考えるようにすること

ア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり

主な学習内容

「飲料水、電気、ガスの確保」と「自分たちの生活や産業とのかかわり」を調べる

*飲料水、電気、ガスのいずれかを取り上げる

・人々の生活や産業に欠かすことのできない飲料水、電気、ガスがいつでも使えるように必要な量が確保されていることを具体的に調べる

・飲 料 水：・炊事、洗濯、風呂などの家庭生活や商店、工場などの産業、学校など様々な場面で使われ、市全体では大量に使用されていること

・必要な量がいつでも使えるように確保されていること

- ・電気, ガス: ・生活や産業に欠かすことができないものであること
 ・必要な量がいつでも使えるように確保されていること
 などを取り上げることが考えられる

「廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり」を調べる

*ごみ, 下水のいずれかを取り上げる

- ・廃棄物の処理にかかわる対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るために欠かすことができないことを具体的に調べる

→小5社会(1)ウ
 ・公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ
 →小6社会(2)
 ・我が国の政治の働き

◇見学や調査, 資料の活用

対象: 飲料水, 電気, ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり

例) ・家庭や学校など身近な生活における使われ方や使用量とそ
 の変化などを調べる

- ・廃棄物の行方を調査する
- ・処理場に集められる廃棄物の量やその変化などを調べる

*家庭における飲料水の使われ方や廃棄物の処理の仕方などを取り
 上げる際には, 個人のプライバシーに十分配慮する

◎飲料水, 電気, ガスの確保や廃棄物の処理にかかわる対策や
 事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と
 向上に役立っていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・飲料水, 電気, ガスのいずれかを取り上げ, 家庭や学校でどのような使われ方をしているか, またその使用量はどのくらいか, 使用量の変化を調べ, 絵グラフなどに表現する
 - ・清掃工場や下水処理場を見学して, 廃棄物や下水の処理方法・量やその変化, 資源の再利用などを調べる
 - ・校内の水道にかかわりのある設備を調べ, 絵や図に表現する
 - ・飲料水や電気, ガスなどが家庭や学校, 工場などに供給されるまでの経路を, 絵や図に表現する
 - ・地域で行っているごみ収集の仕方を, パンフレットや集積所の看板などを使って調査する
- △あすなろ学習室の「水はどこから」(天竜川・大井川・柿田川)を使い, 調べ学習を行う

イ これらの対策や事業は計画的, 協力的に進められていること。

主な学習内容

「これらの対策や事業は計画的, 協力的に進められている
 こと」を調べる

- ・これらの対策や事業が計画的に, 広く他地域の人々の協力を得ながら進められていることを具体的に調べる

・飲料水, 電気, ガス:

- ・生活や産業に必要な量を常に確保し安定供給を図るための対策や事業を取り上げる

・飲料水の確保: 需要の増加に対して

- ・水源を確保・維持するために森林が保全されていること
 - ・ダムや浄水場などの建設が計画的に進められていること
 - ・他の市や県の人々の協力を得ながら行われていること
 - ・地域の人々も節水や水の再利用などに協力していること
- などを取り上げる

→小5社会(1)エ
 ・国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

・電気の確保: 需要の増加に対して

- ・主として火力, 原子力, 水力の発電所から送り出される電気によって安定供給が図られていること
 - ・燃料や水資源の確保のための対策や発電所から消費地までに送電されるまでの事業が計画的に進められている
 - ・地域の人々が節電や太陽エネルギーの利用に努めるなどの工夫や協力をしていること
- などを取り上げる

→中地理(2)イ(ウ)
 ・資源・エネルギーと産業

*火力発電の燃料である液化天然ガスや重油, 原子力発電の燃料であるウランなどを外国から輸入していること

*火力発電所や原子力発電所においては環境に配慮していることや安全性の確保に努めていることについて取り上げる

・ガスの確保：

- ・原料の液化天然ガスなどを外国から輸入していること
- ・安全確保に努めていること

などを取り上げる

*節水や節電などの資源の有効な利用について扱い、資源・エネルギー問題に対する関心をもち、自らも節水や節電に協力しようとする態度を育てるように配慮する

・廃棄物の処理：

- ・健康な生活や良好な生活環境を維持するための対策や事業を取り上げる

- ・増え続ける廃棄物の処理にかかわる対策や事業として

- ・廃棄物の処理の仕方の工夫
- ・廃棄物を資源として活用する取組
- ・最終処分場の確保にかかわる計画的、協力的な取組

などを取り上げる

*地域の人々はおもつより広く他の市（町）や県の協力を得ながら進められていることにも触れる

*廃棄物を資源として活用していることについても取り上げ、地域の環境保全に対する意識を高め、自らも廃棄物の適切な処理や再利用などに協力しようとする態度を育てるように配慮する

◇見学・調査・資料の活用

対象：対策や事業は計画的、協力的に進められていること

◎飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理にかかわる対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えることができるようにする

→小5社会(1)ウ

- ・公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ

→小6社会(2)ア

- ・国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

学習の手立ての例

- ・浄水場や発電所などの施設の見学をして、飲料水、電気、ガスなどを供給する仕事に携わっている方から消費地に供給されるまでの対策や事業について聞き取り調査を行う
- ・市役所や町役場、廃棄物処理施設の方から処理にかかわる話を聞くことで、資源の有効利用の具体的な取組やその必要性などを考える
- ・飲料水・電気・ガスは生活を支える有限な資源という視点から、家庭での節水や節電などの実践的な活動を調べ、自分にもできることを考えたり、ポスターなどを作ったりする
- ・ごみの出し方や集積所、資源の再利用や生活排水に関する地域や市町のきまりを調べて、何のためにそれらがあるかを考える

★自分たちの自治体の廃棄物処理の仕方を他の自治体のやり方と比較する

★飲料水・電気・ガスのうち、授業で取り扱わなかった事例を調査する

★電気やガスを供給するために日本が原料を輸入している国を調べ、地図に表現する

(4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

(内容の取扱い)

- (4) 内容の(4)の「災害」については、火災、風水害、地震などの中から選択して取り上げ、「事故の防止」については、交通事故などの事故防止や防犯を取り上げるものとする。
- (5) 内容の(3)及び(4)にかかわって、地域の社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うものとする。

地域社会における災害及び事故の防止

- ・地域の消防署や警察署などの関係機関に従事する人々が相互に連携し、地域の人々と協力して、災害や事故から人々の安全を守る工夫や努力をしていること

災害や事故：・地域の人々の生命や財産を脅かす火災、風水害、地震などの災害
・交通事故と犯罪の事故や事件

*これらの災害や事故から人々の安全を守ることは、地域社会での安全な生活を保障するものであり、地域住民の強い願いに基づくものである

◇見学、調査したり資料を活用したりして調べる

対象：消防署や警察署などの関係機関を見学したり調査したりして具体的に調べる

◎人々の安全を守るための関係機関の働きを考える

- ・消防署や警察署、市役所などの関係機関が、各部署の役割を生かし、平素から災害や事故の防止に努めるとともに、火災、交通事故、犯罪など緊急事態が発生した時には一刻を争って事態に対処していることを手掛かりにして、人々の安全を守るためには関係機関がどのような働きをしているのかを具体的に考える

◎そこに従事している人々の工夫や努力を考えるようにする

- ・災害や事故が発生した時には近隣の消防署や警察署に連絡し協力を得ていることはもとより、市役所や町役場病院、放送局が協力していることや、消防団や水防団など地域の人々が組織する諸団体が緊急事態に対処していることなど、関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を具体的に考える

ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。

主な学習内容

小3・4社会(1)ア →
・身近な地域や市(町)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

「関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること」を調べる

- ・災害の防止と事故の防止の事例をいずれも取り上げ、消防署や警察署などの関係機関が地域の人々と協力して、災害や事故による被害を未然に防ぐ努力をしていることを具体的に調べる

例) ・災害や事故に備えるための機関や施設・設備などの位置や分布、働きなどを調査する

- ・消防署や警察署、市役所や町役場の職員から聞き取り調査する

- ・地域の防災や防犯に協力している人や消防団の仕事に従事している人から話を聞いたり、それらの活動の様子を視聴覚資料で調べたりする

*災害の防止と事故の防止の事例をいずれも取り上げる

*災害については、火災、風水害、地震などの中から一つを選択

・災害の防止：

・火災：

- ・消防署を中心に、警察署、市役所や町役場、病院、放送局、学校、電気・ガス・水を供給している機関などが普段から施設・設備の整備や点検、訓練、広報活動などに取り組み、火災の予防や発生時に対する備えをしていること

- ・地域の人々が消防署への火災通報、避難訓練の実施、地域の消防団による防火を呼びかける活動などの火災予防に協力していること

→小6社会(2)ア

- ・国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

- ・風水害：
 - ・国や県の働きや近隣の市（町）の協力により、がけ崩れの防止や河川改修、水防倉庫の設置、避難場所の確保など、風水害を未然に防ぐ努力をしていること
 - ・避難訓練の実施、地域の水防団による危険箇所の見回りや点検など、地域の住民が風水害防止に協力していること
- ・地震：
 - ・国と県と市の協力による地震情報の提供、緊急避難場所の指定や備蓄倉庫の設置
 - ・地震の発生を想定した緊急時の連絡体制などの整備、及び救助計画、避難訓練などへの地域の人々の協力と参加
 - * 地域の実態や児童の生活経験、関心などを踏まえて、火災、風水害、地震などの中から一つを選択して取り上げる
- ・事故の防止：
 - ・警察署が中心となって、消防署、市役所や町役場、病院、放送局、地域の町内会や自治会、PTAその他関係の諸団体が協力、連携して交通安全運動や防犯活動を展開していること
 - ・PTAによる地域巡回、「子ども110番の家」など、地域の人々が事故防止や防犯に協力していること
 - * 地域の人々の生命、身体、財産などを守るために活動している警察の働きを理解できるようにする
 - * 法やきまりを守ることが地域の安全な生活を営む上で大切であることに気付くようにする

- 小5社会(1)エ
 - ・自然災害の防止
- 中地理(2)イ(7)
 - ・自然環境
 - …自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる
- 中地理(2)ウ(7)
 - ・自然環境を中核とした考察
 - …地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える

◇見学や調査、資料の活用

- 例) ・災害や事故に備えるための機関や施設・設備などの位置や分布、働きなどを調査する活動
- ・消防署や警察署、市役所や町役場の職員から聞き取り調査する活動
 - ・地域の防災や防犯に協力している人や消防団の仕事に従事しているから話を聞いたり、それらの活動の様子を視聴覚資料で調べたりする活動

◎人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えることができるようにする

- * 地域の安全は互いに協力したり共に助け合ったりして守ること、自分も地域社会の一員として自分の安全は自分で守ること、が大切であることに気付くように配慮する

学習の手立ての例

- ・災害や事故防止のための日頃の取組、緊急事態に対する備え、災害や事故発生時の組織的な対処などについて調べる
- ・校内・学区の消火器・消火施設、消火栓やガードレール・道路標識、水防倉庫、防災用備蓄倉庫、緊急避難場所などの施設・設備の位置や働きなどを調べる
- ・災害への日頃の備えや施設、訓練の計画などについて調査したことを表や図、地図を用いて表現する
- ・火災報知器や信号機など身の回りの安全を守るための仕組みやきまりを調べる
- ・災害に備えて地震防災訓練への参加、防災グッズの準備など、各家庭でできる取組を調べる
- ・地区防災委員の方への聞き取り調査や学区の安全マップを作るなどして、自分ができる事故防止・災害防止について考える

- 📍東海地震に対する国・県・市・町の備えを調べる
- 📍静岡県地震防災センターへの見学をする

イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

主な学習内容

小3・4社会(1)ア →
・身近な地域や市(町)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

「関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること」を調べる

*災害と事故の事例をいずれも取り上げる

・災害について：

火 災：その発生時において、関係の諸機関が相互に連携して消火や救助に当たるなど、一刻を争って事態に対処していること

風水害：その発生時において、関係の諸機関が相互に連絡を取り合い、地域の人々を安全に避難させるために活動していること

地震：その発生時において、関係の諸機関が相互に連携して、地震情報の提供、被災者への救援や救助、緊急避難場の設営などを行い、地域の人々の生命を守り、安全を確保するために活動していること

事故：事故や犯罪の発生時において、警察署が中心となり、関係の諸機関と連携して、事故や事件の処理・捜査に当たっていること

→小5社会(1)エ
・自然災害の防止

→中地理(2)イ(7)
・自然環境
→中地理(2)ウ(7)
・自然環境を中核とした考察

→小6社会(2)ア
・国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

◇見学・調査・資料の活用

- 例)・消防署、警察や交番などを見学し、そこに従事している人から話を聞いて調べる
・災害発生時の一刻を争う対処の様子を視聴覚資料を活用したり資料を収集したりして調べる

◎地域の人々の安全を守るための関係機関の働きと、そこに従事している人々の工夫や努力を考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・地域の消防署・警察署を見学し、そこにある様々な施設・設備を観察して、そこで働く方々から聞き取り調査を行う
 - ・交通事故や火災が起きた時、警察や消防署が一刻も早く現場に行くための工夫や努力を考える
 - ・交通事故や火災が起きた時、警察や消防署がどんな対処をするのかを調べることで、緊急時には多くの関係機関が協力していることを図にまとめる
 - ・災害が起きた時、関係機関がどんな対処をするのかを調べる
- 📍あすなろ学習室の「静岡県の警察」を使い、調べ学習を行う

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

地域の人々の生活

- ・自分たちの祖先や地域の発展に尽くした先人の働きの上に成り立っている地域の人々の生活の様子
- ・歴史的背景に目を向け、「地域の人々の生活」の移り変わりについて学習する

◇見学や調査、聞き取り調査、まとめ

- ・博物館や郷土資料館などを見学し、道具を観察したり、それらの道具が使われていたころの生活の様子、古くから伝わる文化財や年中行事の内容やいわれなどを聞き取ったりすること
- ・調べたことを時間の経過に沿って整理し、今昔の違いや移り変わりの様子をまとめたりすること

◎人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える

- ・「人々の生活の変化」を考える：
 - 昔の道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子を調べることによって、地域の人々の生活の今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵を考える
 - ・「人々の願い」を考える：
 - 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事には、地域の発展やまとまりなどへの人々の願いが込められていることなどを考え、人々の生き方に触れるようにする
 - ・「地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心」を考える：
 - 開発、教育、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人を取り上げ、それらの先人の働きや苦心が地域の人々の生活の向上に大きな影響を及ぼしたことを具体的に考える
- * 地域社会に対する誇りと愛情を育てることにつながるものである

ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

主な学習内容

「古くから残る暮らしにかかわる道具」を調べる

- ・現在も残っている暮らしに使われた昔の道具を取り上げ、道具の様子やそれらの使い方などを具体的に調べる
- * ここで取り上げる道具は、日常生活と密着した道具が適当である
 - 例) 暖房に使われてきた道具
 - いろり、火鉢、こたつ、ストーブ、エアコンなどいろいろに変化してきている
- * 道具そのものの変遷を学習することで終わることなく、それに伴って、地域の人々の生活がどのように変化してきたのかを考える
- * 調べる対象や事例が身近な地域に見られる場合には、市(町)を中心とした地域の範囲とすることができる

「それらを使っていたころの人々の暮らしの様子」を調べる

- ・古くから残る暮らしにかかわる道具を使っていたころの人々の暮らしの様子を取り上げ、地域の人々の生活が変わってきたことを具体的に調べる
- * 取り扱う時期：地域の高齢者が子どものころ
 - 父母が子どものころ
 - 現在の時期
- ・高齢者や父母から、古い道具を通して子供のころの暮らしの様子を聞き取り、それらと現在の自分たちの生活の様子を比べながら、地域の人々の生活が変化してきたことを考える
- ・現在の自分たちの生活は祖先の努力の上に成り立っているという、歴史的背景に関心をもつようにする

→小6社会(1)

- ・…歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする

◇見学・調査

*社会科を学習する児童にとって初めての歴史的な内容であることに配慮し、見学や体験を取り入れるなど、学習を具体的に展開できるようにする

- 例)・地域の博物館や郷土資料館などにある昔の道具を観察する
・高齢者や父母からかつて生活に使用していた道具の使い方を教わり体験する

◎過去の生活における人々の知恵や工夫に気付いたり、地域の人々の生活の変化や人々の願いを考えたりするとともに、地域の変化や地域社会の発展を願ってきた人々の生き方に触れるようにする

→中歴史(1)イ

・身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる

学習の手立ての例

- ・高齢者や父母への聞き取り調査を通して、過去と現在の生活の様子を比較する
- ・洗濯板など入手可能な道具を実際に体験し、当時の暮らしぶりを実感するとともに知恵と工夫を考える
- ・道具の変遷とそれに伴う生活の変化を、年表形式の絵や図などで表現する

イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事

主な学習内容

小1, 2生活(5) →
・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに気づき、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする

「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」を調べる

- ・古くから伝わる文化財や年中行事を取り上げ、これらの内容やいわれ、地域の人々がそれらを大切に保存し継承するための取組などを具体的に調べる
- ・民俗芸能などの文化財が地域の歴史を伝えるとともに、そこにはそれらの保存に取り組んでいる人々の努力が見られること
- ・地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事には地域の生産活動や町の発展、人々のまとまりなどへの願いが見られることなどを取り上げ、生活の安定と向上に対する地域の人々の願いや保存・継承するための工夫や努力を考える

*調べる対象や事例が身近な地域に見られる場合には、市(町)を中心とした地域を範囲とすることができる

→中地理(2)ウ(カ)

・生活・文化を中核とした考察

◇見学・調査

- 例)・文化財を見学、調査する
- ・文化財や年中行事の保存・継承に携わる人から話を聞く
 - ・古くから伝統的に伝わっている行事や節句などの様子を調べる
- *実際に行事に参加したことのある児童の体験談を紹介し合う活動は、自分たちも地域の伝統や文化を受け継いでいく一人であるという意識を養い、参加意欲を高めることにもなり、地域社会の一員としての自覚を育てる

◎地域の人々の願いを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・地域に受け継がれてきた民俗芸能などの文化財や年中行事の内容などを調べ、地図や年表などにまとめる
 - ・文化財の見学・調査、地域の年中行事の保存会の方などに保存・継承のための取組を聞き取り調査し、地域の人々の願いや保存・継承のための工夫や努力を考える
 - ・地域独自の年中行事と一般的な年中行事との比較をする
 - ・地域の伝統や文化を受け継いでいくために自分は何ができるのかを考える
- 👉自治体のホームページなどから身近にある民俗芸能などの文化財を調べる

ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

(内容の取扱い)

(6) 内容の(5)のウの「具体的事例」については、開発、教育、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げるものとする。

主な学習内容

「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を調べる

- ・開発、教育、文化、産業などの面で地域の発展に尽くした先人の具体的事例のいずれかを取り上げ、地域の発展に対する先人の願いや工夫・努力、苦心、地域の人々の生活が向上したことなどを具体的に調べる(例)・用水路を開く、藩校や私塾を設ける、新聞を発刊する、新たに産業を興すなど、地域の発展に貢献してきた人々が、強い信念をもって情熱を傾け、よりよい生活を求めて努力したことや、これらの先人の働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことなどを取り上げる

◇見学・調査・年表にまとめる

例)・博物館や郷土資料館などを訪ね、当時使われていた道具を調べたり実際に触れたり使ったりする活動を通して、先人の工夫や努力、当時の人々の生活の様子などを具体的に調べる

*適切な事例が身近な地域や市に見られない場合には、県内から選定することも考えられる

*先人の働きと地域の人々の生活の向上とを関連付けて考えることができる事例を選択して、その人物の業績を中心に学習できるよう配慮する

◎地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えることができるようにする

→中歴史(1)イ

- ・身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる

学習の手立ての例

- ・地域の発展に尽くした先人について、その工夫や努力を年表や地図、絵などで表現して、地域がどう変わったかをまとめる

📖 「輝く静岡県の先人」(平成21年 県文化政策課発行) 参照

(6) 県の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色を考えるようにする。

県の様子

- ・県の地形や産業などの概要とそこに見られる人々の生活の様子

◇資料を活用したり白地図にまとめたりして調べる

- ・作業的な学習を取り入れたり実物を活用したりして、学習が具体的に展開できるようにする
例) ・県の地図や地図帳、収集した各種の資料などを活用し、調べたことを白地図にまとめる
・県内で生産された農作物や製品の実物などを活用する

◎県の特色を考えるようにする

- ・県の地形や産業などの概要や分布などに見られる特色
- ・地域の自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域やそこで生活している人々の生活に見られる特色やよさを具体的に考える

◎静岡県に対する誇りと愛情をもつようにする

ア 県内における自分たちの市(町)及び我が国における自分たちの県の地理的位置、47都道府県の名称と位置

主な学習内容

小3,4社会(1) →
・自分たちの住んでいる身近な地域や市(町)について、…観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする

「県内における自分たちの市(町)及び我が国における自分たちの県の地理的位置」を調べる

- ・県内における自分たちの市(町)の位置
国内における自分たちの県の位置を取り上げて調べる
- ・隣接する市や県との位置関係や日本全体から見た位置などについて、方位などを用いて言い表す
例) 「わたしたちの市は、A市やB市と隣り合っている」
「わたしたちの市は、県のほぼ中央にある」
「わたしたちの市は、県庁のあるC市のほぼ北の方角にある」
「わたしたちの県は、D県やE県、F県に囲まれている」
「わたしたちの県は、日本全体から見ると南の方角にある」
*その際、地図に掲載されている距離を表す目盛りを用いて二つの地点間の距離を求める方法があることについて取り上げる
- ・自分たちの市や県の位置を広い視野からとらえることができるようにする

→中地理(2)ア
・日本の地域構成
…地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる

「47都道府県の名称と位置」を調べる

- ・我が国が47の都道府県によって構成されていることが分かり、都道府県の名称と位置を一つ一つ地図帳で確かめ、日本地図(白地図)上で指摘できるようにする
- *47都道府県の名称と位置については各学年においても指導し、小学校修了までには確実に身に付け、活用できるようにする

→小5社会(1)ア
・我が国の位置と領土

◇資料の活用・白地図へのまとめ

- *県の地図や地図帳を十分に活用する
例) ・地図から自分たちの市(町)や県を見つける活動
・市(町)や県の位置を言い表す活動
・47都道府県の名称と位置を地図帳で確かめ、その名称を白地図に書き表す活動

◎自分たちの住んでいる県の位置を広い視野からとらえ、その特色を考える手掛かりとなるようにする

学習の手立ての例

- ・ 静岡県を白地図に書き込む作業を通して、他の都道府県との位置関係を四方位や八方位を使って確認する
- ・ 自分たちの住んでいる市（町）を静岡県の白地図に書き込む作業を通して、他の市や町との位置関係を四方位や八方位を使って確認する
- ・ 全国の都道府県の名称と位置を題材としたクイズを作り、お互いに出し合う
- ・ 動物を表す漢字を使っている、海に面していない、自分が行ったことのある都道府県などテーマを決めて、各都道府県の名前と位置を白地図に書き込む

あすなる学習室の「都道府県を調べてみよう」を位置と名称の確認に活用する

イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

主な学習内容

「県全体の地形や主な産業の概要」を調べる

- ・ 県全体の主な山地や平地、半島、川、湖、海などの位置や広がりの様子
 - ・ 県全体に見られる主な産業の概要や分布
- を取り上げて調べ、白地図に書き表す
- 例) 産業の概要：・全国的に見て生産量の多い産業
・その地域独自の特色ある産業 など

「交通網の様子や主な都市の位置」を調べる

- ・ 県内を通る主な道路や鉄道などの交通網
 - ・ 主な港や空港の位置
 - ・ 主な都市の位置
- を取り上げて調べ、白地図に書き表す
- 例) ・主な道路：高速道路、主な国道や県道など
・主な都市：県庁のある市や人口が集中している市
交通の要衝となっている市など

◇地図の活用・白地図の利用

- ・ 県の地図や立体地図などを活用して、主な地形や産業、道路や鉄道、都市などを調べ、白地図に書き表す活動を通して、県全体の特色をとらえる

◎自分たちの住んでいる県の地形や産業などの特色を考えることができるようにする

→小5社会(1)～(4)
・ 国土の自然などの様子、我が国の農業、水産業、工業生産、情報産業などの産業

→中地理(2)ウ
日本の諸地域

学習の手立ての例

- あすなる学習室の「静岡県」の地図帳を使い、静岡県の主な地形・産業・交通・都市を調べ、白地図に書き込み県全体の概要を表す紹介マップを作り、静岡県の特色を考える
- あすなる学習室の「静岡県」の地図帳を使い、静岡県が全国におけるNo.1の項目を調べ、県全体の概要を考える
- あすなる学習室の「静岡県の工業」「静岡県の農業」「静岡県の地形」「静岡県の交通」を使い、調べ学習を行う

ウ 県内の特色ある地域の人々の生活

(内容の取扱い)

- (7) ア ウについては、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。その際、伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含めること。

主な学習内容

小3・4 社会(2) →
・地域の人々の生産
や販売

「県内の特色ある地域の人々の生活」を調べる

- ・県内の特色ある地域の人々の生活の様子を取り上げ、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域や、そこに見られる人々の生活の特色を具体的に調べる

県内の特色ある地域:

- ・伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域のほか、例えば渓谷や森林、高原や湿原、河川や海辺などの自然を守りながら、あるいは歴史ある建造物や街並み、祭りなどの地域の伝統や文化を受け継ぎ保護・活用しながら地域の人々が互いに協力して、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域

例) 自然環境、伝統や文化、産業などから見て自分たちの住んでいる市とは異なる地域を選択し、比較しながら、県全体の特色をとらえることができるように配慮する

- ・伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含めて、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域の中から二つ程度を選択して取り上げることが考えられる

伝統的な工業

例) 陶磁器、塗物、織物、和紙、人形、筆など、今でも優れた技術が継承されているもの

- ・自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域

例) 人々に様々な恵みをもたらしている自然の風景や歴史的な景観、文化財や年中行事、その土地の特性を生かした産物などを地域の資源として保護・活用し、地域の活性化に努めている地域

- * 特色ある地域を選定する際には学校が置かれている市の特色などを考慮する

例) 自然環境、伝統や文化、産業などから見て自分たちの住んでいる市とは異なる地域を選択し、比較しながら県全体の特色をとらえる

◇資料の活用・調査

例) ・取り上げた地域の市役所などに問い合わせたりインターネットを活用したりして県内の特色ある地域に関する資料を収集し、有効に活用する

- ・地域の伝統や文化を生かしたまちづくりに取り組んでいる地域や伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域については、見学や調査などの体験的な活動を取り入れる

◎自分たちの住んでいる県の特色を考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・他地域の社会科副教材などを参考にして、自然環境、伝統や文化、主な産業などが自分たちの地域とは異なるという視点から特色ある地域を選ぶ

→中地理(2)ウ
・日本の諸地域
(7)自然環境を中核とした考察
(4)歴史的背景を中核とした考察

エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

(内容の取扱い)

(7) イ エについては、我が国や外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。

主な学習内容

小3, 4社会(2)イ →
・地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特徴及び国内の他地域などのかかわり

「人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり」を調べる

・生活や産業に見られる他地域とのかかわりを取り上げ、県内の人々の生活や産業は、県内だけでなく、広く国内の他地域や外国とも結び付いていることを具体的に調べる

例) ・姉妹都市提携を結び、外国の都市と様々な交流事業を行っていること

・船、飛行機、鉄道、自動車などの交通手段を利用して国内の他地域や外国との行き来が盛んに行われていること

・外国や他の県から観光客を招き入れていること

・農業や工業において原材料の仕入や生産物の出荷などの面で国内の他地域や外国と結び付いていること

*交通網や産業、特色ある地域の人々の生活などの学習と関連付けて取り上げる

*外国を取り上げる際、我が国や外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を育てる

*いずれの国でも国旗を大切にしていること

*我が国の国旗を尊重するとともに、外国の国旗を尊重することが大切であること

などを指導することが大切である

*取り上げた外国の名称と位置、国旗を地図帳や地球儀などで確認する

◎自分たちの住んでいる県の特徴を、より広い視野から考えることができるようにする

→小5社会(1)～(3)
・産業における、貿易や運輸の働き

→小6社会(3)ア
・我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子

学習の手立ての例

📍 静岡県の各市(町)などと姉妹・友好提携を結んでいる外国の都市について地図帳や地球儀で位置や国名を調べ、世界地図に位置と国旗を表す

📍 いろいろな交通機関を通して国内外と静岡県がどのように結び付いているのかを調べる

📍 静岡県ホームページ「交流・まちづくり」の中の「国際交流」を活用して、外国の都市との姉妹・友好提携について調べる